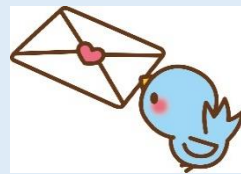


# SSR

## 山口大学

# 学生特別支援室だより

## News Letter



## SSRが設置一周年を迎えます

学生特別支援室（SSR：Student special Support Room）は、山口大学に在籍する障害のある学生の相談・支援のための学内拠点として平成27年6月1日に設置されました。平成28年4月、室長が宮田室長から小川室長（新室長からのメッセージ参照）にバトンタッチされ、また6月からSSRの岡田先生が副室長に就任し、新体制で相談・支援業務に臨んでいます。なお、平成27年度は以下のような事業を行ってきました。

- 支援のための学内規則・申合せなどの策定
  - 関連委員会の開催：障害学生連絡会、障害学生修学支援委員会
  - 支援者の育成：支援スキル研修会の開催、アクセシビリティリーダー育成プログラムの実施、学生スタッフの育成
  - 障害のある学生への修学支援：相談対応、定期面談、授業担当の先生方に配布する「配慮願」の作成
  - SSRの広報：ホームページの開設、チラシやニュースレターの発行
- 平成28年度は、これらの事業の拡充をはかりつつ、SSRの学内周知や教職員のFD・SDを実施していきます。

## SSR新室長 小川勤先生からのメッセージ

### ◎SSR室長としての意気込み

主に発達障害のある学生を対象に支援していたCSR（コミュニケーションサポートルーム）からさらに発展し、SSRは他の障害のある学生にも対応できる支援室としての形はできてきたと思います。課題としては、運営費の問題、学生スタッフの充実、教職員に対する啓発活動など。また、すぐにはできなくとも、SSRの体制が固まり余力ができれば、県内の他の大学とも連携し、地域に貢献できればと考えています。

### ◎今後の展望

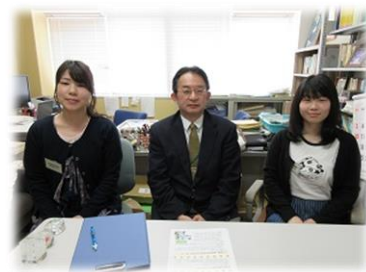
教職員に対して、FD・SDを開催するなどして以下のことを周知したいです。

- ①学生特別支援室の役割
- ②学生特別支援室が、支援をする教職員に協力できる内容
- ③授業を行う上で、教職員は障害のある学生からのリクエストにどう対応していけばよいかということ

また、学生スタッフのスキルアップを図るとともに、学生スタッフがどのような活動をしているのか知ってもらう機会を増やしたいです。さらに、宇部地区での支援、他組織との連携も強めていきたいと思っています。少し長い目で見れば、SSRの運営を安定させたいところです。新設で、まだまだ難しいこともありますが、一つずつ解決していきたいと思っています。

### ◎学生に求めること

学生には、周りに障害のある学生がいるということを知り、彼らに対しての理解を深めてほしいと思います。また、学生のうちに、世の中の役に立つという経験をしてほしいです。そういう経験をしていると、世の中に出たときに、障害等に関する理解が深まり、障害のある人たちを特別な目で見るとはならず、「個性のある人たち」として受け入れられるのではないかと思います。



SSR学生スタッフが、小川新室長にインタビュー！





# H28年度「支援スキル研修会」開催！

学生特別支援室では、障害等のある学生への支援のための「スキル研修会」を開催しています。山口大学の学生なら、誰でも参加費無料で参加できます。興味のある方は気軽にご参加ください。

日程	時間	場所	内容
4月28日(木)	5コマ	共通教育 演習室2B	手話で挨拶①、ノートテイク
5月19日(木)	5コマ		車いす操作、ノートテイク
6月23日(木)	5コマ		指文字練習、ノートテイク
7月14日(木)	5コマ		ガイドヘルプ、ノートテイク
8月4日(木)	5コマ		手話で挨拶②、ノートテイク

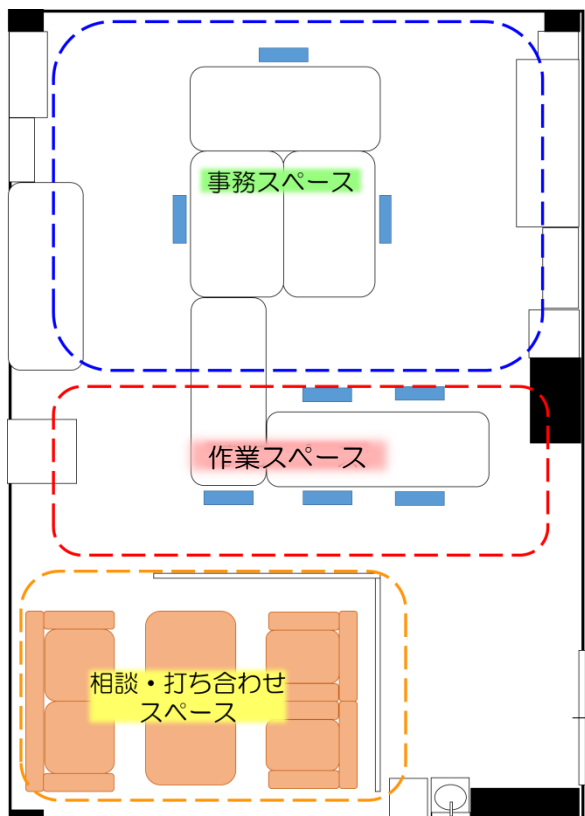
申込はSSRへ

事前に申しただけると準備しやすいので助かります。当日参加も歓迎です。

- ◆宛先：shien@yamaguchi-u.ac.jp
- ◆件名：支援スキル研修会参加希望（希望する研修日程）
- ◆本文：学部学年、学籍番号、氏名

- ノートテイク：聞こえない・聞こえにくい場合等に行う筆記通訳の方法を学びます
- 指文字：50音や数字を、手の形や動きで表現してみましょう
- ガイドヘルプ：見えにくく移動が難しい場合の補助方法を学びます
- 手話：手話で挨拶や簡単な自己紹介できることが目標です
- 車いす操作：車いすの使い方を確認しましょう

## 学生特別支援室(SSR)室内案内



- 学生特別支援室（SSR）は、共通教育棟1階、就職支援室の横にあります。SSRの室内は左図のようになっています。事務スペースと作業スペース、相談・打ち合わせスペースがあります。
- 事務スペースには職員3名が常駐し、学生・教職員からの相談に対応しています。作業スペースは、SSR学生スタッフの活動や、事務作業のために使っています。
- 相談・打ち合わせ等はオレンジ色で囲まれた場所で行います。つい立てで囲まれているので、周囲を気にせず相談できます。相談希望の方は、事前にメールで予約いただくと確実です。



# H27年度 支援スキル研修会 開催報告

学生特別支援室が行う支援スキル研修会では、多様なニーズを想定しながら、様々な支援スキルを学ぶことができます。平成27年度に行った研修会の様子を報告します。



## 指文字研修

11月5日（木）5コマ目の研修会には5名の学生が参加し、指文字とノートテイクの研修を行いました。初めに指文字で五十音を一つずつ丁寧に練習しました。指文字には、アルファベットやカタカナの形を模したものとあるという講師

（SSR岡田先生）の話に、参加者から驚きの声があがりました。また、指文字の更なる定着を目指して、指文字で自己紹介と、しりとりを行いました。相手の手の形と、指文字のプリントを見比べながら、楽しく指文字を練習することができました。促音や拗音の表し方も、指文字しりとりをする中で、しっかり練習することができました。



## ガイドヘルプ研修

12月10日（木）5コマ目に行った支援スキル研修では、6名の学生と4名の学生スタッフが参加し、ガイドヘルプとノートテイクの研修を行いました。ガイドヘルプ研修では、まず、底に穴の開いた紙コップをメガネのように使用し、「視野に制限がある」場合の困り感を疑似体験しました。次に、2人1組で支援役・見えにくい役に分かれ、実際に教室や廊下をガイドヘルプする研修を行いました。「見えない中で歩くことは、慣れている場所でさえ、恐怖感を感じる。」という参加者の声もあり、見えにくい役にとって安心感を得られるような声かけの大切さを学びました。



## 手話研修（挨拶編）

1月14日（木）5コマ目に、2名の学生と2名の学生スタッフが参加し、手話とノートテイクの研修を行いました。まず、指文字表を見ながら自分の名前を手話で表す練習をして、自己紹介の手話を2人1組で行いました。次に、自分の所属する学部や学年、出身地や好きなもの、嫌いなものを手話で工夫しながら表現してみました。片言ではありますが、自己紹介する際のレパートリーがだんだんと増えていきました。また、「思ったよりも難しかった。」という参加者の声がありました。

プリントを見ながら1人で勉強するよりも、みんなで確認しながら一緒に学んだほうが、わかりやすく早く覚えることができるということを実感しました。

## 車いす操作研修

2月10日（水）2コマに、今年度最後の第4回SSR支援スキル研修会を行いました。参加者2名、学生スタッフ4名と一緒に、車いす操作とノートテイクの研修を行いました。車いすの開き方から、押し方、片づけ方まで、実際に車いすを用いて研修を行いました。ペアで教室の出入りや段差の上り下りの練習を行う中で、車いすの目線や感覚を体験することができました。参加者からは「車いすは小学校の時に一度授業で使ったことがあったが、あまり覚えていなかったもので、使い方が確認できよかった。」「車いすに乗る機会や、車いすに乗っている人と接する機会が少ないため、とても貴重な体験をすることができた。」「力がなくても車いすは扱えるようになってはいるはずなのに、そのコツをつかむのが難しかった。」という感想がありました。

## ノートテイク研修

各支援スキル研修会の後半ではノートテイクの研修を行いました。

11月5日（木）の研修会では、紙とペンを使った手書きテイクとパソコンテイクを行いました。また、聞こえにくい役とノートテイク役に分かれてノートテイクを体験しました。実際にノートテイクを行う中で「ここにいない人が読んでも、分かるように」ということを意識することができました。

12月10日（木）は、問題例文を聞きながら、3人1組で分かれて手書きテイクを行いました。聞こえにくい役の子にうまく情報が伝わるように、テイク役の子は、文字の丁寧さや要約的確さを意識している様子でした。また、初めて研修会に参加した学生は、話のポイントを押さえることに苦労しつつも、積極的にテイクに励んでいました。

1月14日（木）の研修会では、パソコンテイクを行いました。1人でのパソコンテイクはある程度タイピングのスキルを要するため、内容を取りこぼすことのないように、全員が集中してテイクを行っていました。研修会の最後には連携テイクにも挑戦し、2人で息を合わせてテイクする体験をしました。

2月10日（木）の研修会では学期最後のノートテイクを行いました。参加者の中には継続して研修会に参加している学生もおり、研修会ごとにノートテイクの速さや正確さが増してきています。研修を通してスキルが向上していると実感しました。

報告作成：SSR学生スタッフ

〔 H27年度スタッフ：浦部・本松  
H28年度スタッフ：豊田・岡村・勢万 〕



# 平成27年度 SSR学生スタッフ活動報告会

平成28年3月28日（月）、平成27年度SSR学生スタッフの活動報告会を開催しました。多くの教職員の方々にご出席いただき、学生スタッフ4名が代表して活動報告を行いました。

## 平成27年度 SSR学生スタッフ 活動報告会 概要

1. 開催日時 平成28年3月28日（月）15時00分～16時00分
2. 開催場所 共通教育15番教室
3. 内容
  - ✓ SSR学生スタッフの活動 概要報告
  - ✓ アクセシビリティリーダーキャンプ参加報告
  - ✓ 学内バリアフリー調査中間報告
  - ✓ 質疑応答



報告会の様子

## 学内バリアフリー調査中間報告

学内バリアフリー調査中間報告では、学生スタッフが調査している共通教育棟のバリアフリー調査と、建物間をスムーズに移動するための学内バリアフリー調査について、調査する際の観点や実際のバリアフリー状況、調査を通して感じたバリアフリー上の課題などを、パワーポイントを使用して発表しました。

共通教育棟では、車いすスペースが整備されている教室が多い一方で、段差があるために車いすでは入室が難しかったり、出欠確認システムの利用が難しそうなケースなどがあることを報告しました。

また、バリアフリーマップの紹介も行いました。スクリーン上ではありますが、実際に学生スタッフが作成したバリアフリーマップを用いて、正門から共通教育係までのルートに参加者の方々と一緒に確認しました。



車いすでは出席確認システムの利用が難しい教室も。

## 報告会を終えて…学生スタッフの感想

参加者の方々がメモをとっている姿や実際に改修を検討して下さるとのお声をいただき、調査の結果が役立った実感と、今後の活動のモチベーションに繋がりました。また、松葉杖利用者を想定した調査の提案などのご意見もいただくことができ、今後の活動に向けた視野を広げることができました。今後は今回いただいたご意見を参考に、より有効なバリアフリーマップ作成に向けて活動を行ってまいります。私たちが調査した内容が、今後実際に大学の環境整備に役立っていくと良いなと思います。

## 平成27年度 アクセシビリティリーダーキャンプ(ALC)報告

アクセシビリティリーダーキャンプ (ALC) は、アクセシビリティリーダー学生を対象として開催される研修合宿です。山口大学は、平成26年度・27年度と2級アクセシビリティリーダー学生を送り出しています。

- 日程：2016年3月1日（火）～3月4日（金）
- 参加者：アクセシビリティリーダー学生16名  
（山口大学2名、広島大学7名、富山大学3名、大阪教育大学3名、九州大学1名）
- テーマ：2020年オリンピック・パラリンピックに向けて地方の取組・企業の働き（インバウンド対応）
- 訪問先：富士通株式会社HAB-YU、パナソニックセンター東京 等

### ALC参加 学生の声

アクセシビリティに興味をもつ他大学の学生との交流を通して、自分の考え方が広がり、これからの学びの意欲が高まりました。政府・企業の方からアクセシビリティの視点の取り組みを学ぶことができ、現状と課題を知り、課題解決のために今何ができるのか考えが深まりました。

## 山口大学 学生特別支援室(SSR)

利用時間：10:00～18:00(土日・祝日を除く)

場所：共通教育本館1階 就職支援室横

TEL:083-933-5256

E-mail:shien@yamaguchi-u.ac.jp